

図書館だより

No.21

2023（令和5年）2月8日

石岡商業高校 図書委員会



2月は如月、梅見月。寒い日々が続くなか立春が過ぎて校庭の梅の枝に一輪咲いて、また一輪陽の暖かさを背に春の訪れを待つ。梅は枝を見て、桜は花を見ると言われている。どちらの樹も冬の厳しさを経て、光り輝く生命のすばらしさを感じさせてくれる。また、春は三人の日(学び舎、友、先生)と書く。思いを胸にまもなく3年生は卒業していく……。

新着本の中からのお薦め本

☆ <自分>を知りたい君たちへ（養老孟司）

「希望は自分のなかにある」。毎日新聞に掲載された書評の待望の書籍化！ 養老先生が今、本を通して人びとへ伝えたいメッセージとは。

「『本当の自分』など、わかりはしない。それを昔から希望と呼んだのである」いまを生きる人びとへのメッセージが詰まった、究極の読書ガイド。

☆ JK、インドで常識ぶっ壊される（熊谷はるか）

普通的女子高生が、インドで暮らすことに。格差社会の光と影、豊かさへの本質と疑問を鋭く描く、女子高生視線のインド滞在記。

なにも知らないまま降り立ったインドー。タピオカもプリクラもない国で、JKが見たものは？「カレーの国」だけじゃない豊かな文化。目を輝かせて未来を語るスラムの少年少女たち。現役女子高生が綴ったインドの光と影。第16回出版甲子園グランプリ受賞作品！

☆ 映画を早送りで観る人たちへ（稲田豊史）

なぜ映画や映像を早送り再生しながら観る人がいるのかー。なんのために？それで作品を味わったといえるのか？著者の大きな違和感と疑問から始まった取材は、やがてそうせざるを得ない切実さがこの社会を覆っているという事実突き当たる。一体何がそうした視聴スタイルを生んだのか？いま映像や出版コンテンツはどのように受容されているのか？あまりに巨大すぎる消費社会の実態をあぶり出す意欲作。

☆ 生きることに〇×はない（戸井田道三）

哲学者である戸井田道三が青少年向けに書いた自伝的エッセイ。母親との死別、結核などの大病、関東大震災での朝鮮人虐殺……と、本書で取り上げられている戸井田の話は決してハッピーな内容ではありません。しかし、そんな辛い経験の中から戸井田は、「わたしが生きてきたのは、生きたというよりむしろ、ただ死ななかつただけなのだ」と思考します。そして、「生きのびているだけで、それが手柄だよ」という恩師の言葉を引き合いに出し、「生きることの意味」について語ります。そんな言葉は、現代の若者にもきっと響くことでしょう。

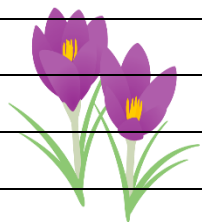
☆ 夜に星を放つ（窪美澄）

かけがえのない人間関係を失い傷ついた者たちが、再び誰かと心を通わせることができるのかを問いかける。コロナ禍のさなか、婚活アプリで出会った恋人との関係、30歳を前に早世した双子の妹の彼氏との交流を通して、人が人と別れることの哀しみを描く「真夜中のアボカド」。学校でいじめを受けている女子中学生と亡くなった母親の幽霊との奇妙な同居生活を描く「真珠星スピカ」、父の再婚相手との微妙な溝を埋められない小学生の寄る辺なさを描く「星の随に」など、人の心の揺らぎが輝きを放つ短編集。もう何も失いたくない。でも私は、また人と関わりたいと思った……。

着本案内 図書館入口より正面書架に新着図書コーナーがあります

書名	著者名
「勉強法のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめてみた	藤吉豊・小川真理子
<自分>を知りたい君たちへ	養老孟司
16テーマで知る 鎌倉武士の生活	西田友広
2084年のSF	日本SF作家クラブ 編
9月1日 母からのバトン	樹木希林 内田也哉子
JK、インドで常識ぶっ壊される	熊谷はるか
朝日新聞政治部	鮫島浩
池上彰の みんなで考えよう 18歳からの選挙 全4巻	池上彰
いっその手で殺せたら	小倉日向
いま、この惑星で起きていること	森さやか
裏切りのギフト	穂波 了
おいしいごはんが食べられますように	高瀬隼子
黄金の人工太陽	J・J・アダムズ 編
落ち着いた あかつきには	蜂須賀敬明
おまえなんかにあいたくない	乾ルカ
かすかい食堂	伽古屋圭市
かすかい食堂―あしたの色	伽古屋圭市
カレーの時間	寺地 はるな
競争の番人	新川帆立
ギリギリな自分を助ける方法	井上祐紀
朽ちゆく庭	伊岡瞬
仕事の教科書	北野唯我
思春期女子のからだと心Q&A	八田真理子

小説の主題を捉える	木内晴己
すずめの戸締り	新海誠
戦国武将、虚像と実像	呉座勇一
そして誰もゆとらなくなった	朝井リョウ
その本は	又吉直樹/ヨシタケシンスケ
タラント	角田光代
たんぽぽ球場の決戦	越谷オサム
日本語の大疑問	国立国語研究所
はぐれ鴉	赤神諒
腹を割ったら血が出るだけさ	住野よる
水たまりで息をする	高瀬隼子
ミッキーマウスの憂鬱ふたたび	松岡 圭祐
モノクロの夏に帰る	額賀滯
やりなおし世界文学	津村記久子
ゆるく考えようー人生を100倍ラクにする思考法	ちきりん
ラブカは静かに弓を持つ	安壇美緒
レッドゾーン	夏川草介
笑うマトリョーシカ	早見和真
一心同体だった	山内マリコ
右大臣実朝	太宰治
嘘つきジェンガ	辻村深月
映画を早送りで観る人たち	稲田 豊史
遠い声をさがして	石井美保
伽羅を焚く	竹西寛子
家裁調査官 庵原かのん	乃南アサ
花散る里の病棟	帚木蓬生
階段ランナー	吉野万理子
鬼人幻燈抄 大正編 夏雲の唄	中西 モトオ
京都生まれの和風韓国人が40年間、徹底比較したから書けた！そっか、日本と韓国って、そういう国だったのか。	ムーギー・キム
橋の上で	湯本香樹実
極刑	小倉 日向
空をこえて七星のかなた	加納朋子



嫌いなら呼ぶなよ	綿矢りさ
原爆ドーム 再生の奇跡	古川修文
現代の国語はなぜ嫌われるのか	笠原美保子
殺しへのライン	アンソニー・ホロヴィッツ
産婦人科医が教える！妊娠・出産と女性特有の不調・病院がわかる本	安田 師仁
仕掛島	東川篤哉
思春期のブリーフセラピー	黒沢幸子・赤津玲子
祝祭の子	逸木 裕
信仰	村田 沙耶香
新宿花園裏交番 ナイトシフト	香納 諒一
新店長がバカすぎて	早見和真
正しいを疑え!	真山 仁
生きることには〇×はない	戸井田道三
生皮	井上 荒野
青の数学	王城 夕紀
青の数学〈2〉ユークリッド・エクスプローラー	王城 夕紀
未来少女・舞	原哲夫
続・未来少女・舞	原哲夫
未来に生きる・舞	原哲夫
汝、星のごとく	凧良 ゆう
入れ子細工の夜	阿津川辰海
録音された誘拐	阿津川辰海
島耕作と鍛えるロジ脳	北村 良子
中学生から知りたいウクライナのこと	小山哲 藤原辰文
夜の道標	芦沢央
落花流水	鈴木 るりか

令和4年度読書会「本をPRするPOPカードづくり」の投票結果は次の通りです。

- 第1位 小島 くる実さん(3年3組) PRした本 「牛首村」
- 第2位 酒井 明日美さん(3年2組) PRした本 「家庭教室」
- 第3位 富田 莉那さん(3年2組) PRした本 「ハイキュー!」

おめでとうございます。後日、賞状と記念品をお贈りいたします。

